

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	浦添市児童発達支援センターたんぼぼ 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2025年 3月 2日
○従業者評価有効回答数		1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 18日		～ 2026年 3月 7日
○訪問先施設評価有効回答数	0	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>○市内の保育園等にはたんぼぼが根付いてきたため、快く受け入れてくれる園がたくさんあること。</p> <p>○保育所等訪問支援を開始して5年目となるため、訪問支援へ入ったことのある園が増え、受け入れる園側の理解度が高くなっていること。</p> <p>○保育所等訪問支援の利用児童の8割は当センターの児童発達支援に通っているため、保護者へのフィードバックの時間の負担軽減ができることや、相談しやすい環境であること。また、訪問先での様子、集団活動の苦手が課題である児童に対して、児童発達支援の活動の中で実際に見てもらうことで、保護者理解が得られやすい。</p>	<p>○児童発達支援を利用されている児童に対しては、療育の様子を見て関わりながら、保護者とできるだけ関係性を作るようにしている。</p> <p>○始めて開始する園へは、事前に挨拶へ行きながら、事業の説明を行っていること。</p> <p>○親子通園の様子を園の先生にも伝えるようにしていること。</p>	<p>○今後も、気軽に声かけられるような関係作りを行い、相談しやすい環境を心がけて行く。</p>
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>○利用希望している児童保護者に対して、職員体制の理由で受け入れできず、待機児童がいること。</p>	<p>○申請から契約までの時間がかかるため、相談事業所との申請のタイミングの時期を調整しながら、集団での困り感を早めにキャッチしていくこと。</p> <p>○職員の増員を行い、待機児童を少なくすること</p> <p>○必要に応じて、専門職や親子通園の担任との同行訪問。</p>	<p>○児童発達支援利用児童の集団の様子、発達状況の把握を行うこと。</p>
2			
3			